

令和8年度 Mine みらいトーク<秋吉地区>

日時:令和8年8月4日(火) 18:25~19:55 場所: 秋芳地域まちづくりセンター 会議室

個人	
テーマ	・秋芳洞・秋吉台の観光客を取り戻す取組について ・鉄道好きにターゲットを絞った取組について ・各種委員の選定について ・スポーツ選手の顕彰について

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
安価な宿泊施設(カプセルホテル等(例)カッタの湯)の整備を提案します。 住民も利用できる居酒屋等や名物料理「洞井」「洞そば」の復活による話題性を創出すべきです。 中学校の総合学習テーマの「秋芳洞入場者数5万人アップ大作戦」を意見反映すべきです。	宿泊施設については、粘り強く企業誘致交渉を継続します。 居酒屋等については、事業者(プレイヤー)不足が最大の課題であり、一時的な支援は可能ですが、継続性が難しいと認識しています。 意見反映については、観光協会においてプロモーションを検討し積極的に関わっていきます。	
BRT転換時に、鉄道好き芸能人を活用したイベント開催や沿線マルシェ等の拡充を提案します。 バス路線図をカラフルな((例)東京メトロ)デザインに刷新し、愛称を用いるなどを提案します。	BRT転換時のイベント開催は必要性があると認識していますが、地域やJR、県、沿線市等との連携が不可欠となります。 路線図のアイデアは分かりやすく、感謝します。	
各種公募委員の選定プロセスを透明化すべきです。	公募委員選定は、公平性を担保するため審査会を設置して審議しています。	
中国大会等に出場した地元選手を称える垂れ幕を設置するなど、地域全体で盛り上げる雰囲気づくりが必要です。地域の活躍を市が積極的にPRし、盛り上げるべきです。	スポーツ選手の顕彰は、対象大会のルール化を検討します。	

個人	
テーマ	・観光施設の獣害について ・観光協会の運営について ・公設塾 mineto の持続可能性について

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
家族旅行村等も同様ですが、リフレッシュパーク内の鹿の増加とマダニ被害は深刻であり、安全対策のための駆除や危険性に関する注意喚起の強化が必要です。	マダニの原因となる有害鳥獣による被害は、市の最大の課題の一つであると認識しています。駆除を続けていますが追いつかないのが実情でもあります。県とも連携し対策を継続していきます。	
事業の可視化が弱く、例えばカルストゲートのアクティビティ事業は好調な一方、その活気が市民や他の事業者に伝わっていない点が残念です。観光協会自身が人件費を稼ぐくらいの気概が必要であり、職員はより「商売っ気」を持つべきです。 花火大会は、出店料に見合うよう、日中から客を呼び込み滞在時間を延ばすなどの工夫をすべきです。	観光協会には「稼げる地域づくり」を担うDMOとしての役割を期待しており、意見は真摯に受け止めます。	
取組自体は非常に良いものと高く評価します。しかしながら、補助金やふるさと納税に依存した運営モデルでは持続可能性の低さが課題であるため、スタッフ(地域おこし協力隊)の任期満了後の定着を促し、起業等により、塾自体が収益を上げる自立した事業モデルへの転換を図るべきです。	持続可能性は最大の課題と認識しています。企業版ふるさと納税等を活用していますが、外部資金の獲得を常に検証する必要がありますと考えます。	